

**CODE 海外災害援助市民センター**  
**2004 年度事業報告**  
**2004. 4. 1～2005. 3. 31**

CODE 海外災害援助市民センター  
 2005. 5. 17 総会資料

**特定非営利活動に係る事業**

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出額(千円)
海外災害地への救援活動事業	救援プロジェクト	4月1日～3月31日	イラン南東部地震	1人	対象地域住民	11,016
		4月1日～3月31日	アフガニスタン	1人	対象地域児童	1,506
		4月1日～3月31日	アルジェリア地震	1人	対象地域住民	0
		4月1日～3月31日	中国ウイグル地震	1人	対象地域住民	508
		4月1日～3月31日	トルコビンギョル地震	1人	対象地域住民	216
		4月1日～6月7日	バンコク・スラム火災	1人	対象地域住民	124
		12月26日～3月31日	スマトラ沖地震津波	1人	対象地域住民	1,758
		2月2日～3月31日	イラン・ザランド地震	1人	対象地域住民	0
	被災地支援のためのクラフト事業	随時	全国	1人	全国各地	2
人材育成事業	NGO ことはじめ(NGO・国際協力に関するセミナー)	1回	神戸市内	1人	大学生・一般の不特定多数	47
	HAT ツアー	開催せず		1人		0
災害関連情報の収集及び発信事業	災害情報サイト(CODE World Voice)の運営	随時	全国	12人	不特定多数	1,086
国内外のネットワーク構築事業	関係機関の開催するセミナー、シンポジウムへ出席	随時	全国	10人		103
	留学生セミナー	夏期	神戸市内	1人	留学生 20人	168
	国際会議等の運営・協力	2004年6月～2005年3月	神戸市内	2人	不特定多数	1,075
市民による災害救援に関する啓発及び広報活動事業	機関誌とインターネット	機関誌は毎月1回発行、インターネットは随時	事務所	3人	全国各地500人/団体	350
	救援プロジェクト報告会	随時	全国	5人	全国各地	505
	冊子等の発行	随時	事務所	2人	不特定多数	106
その他の事業	その他、CODEの事業を推進するために必要な事業	随時	事務所	1人		0

**【海外災害地への救援活動事業】**

**イラン地震救援プロジェクト 2003年12月26日～**

2003年12月26日に発生した地震の被災地、イラン南東部バムへの支援を開始1年が経過した。2004年度の活動としては、現地カウンターパートであるAHKK(働く子どもを守る会)での幼稚園音楽教師養成トレーニングを行った。また震災復興のシンボルとして神戸で歌われつづけている「しあわせ運べるように」のベルシャ語版を作り、神戸とバムの文化的交流を行った。

また 2004 年 11 月 2 日にはイラン政府、国連地域開発センター (UNCRD)、ネパール NGO、NSET と協働し、バム市内において“コミュニティにおける耐震建築普及ワークショップ”を開催し、シェークテーブルテスト (振動台実験) を行った。ワークショップには地元住民はじめ、政府関係者、学生など約 300 名の参加があった。

AHKK のセンター移転に伴い、新ホールの建設を CODE、NVNAD 共同で支援を行った。

また被災地の子どもたち交流プロジェクト「小さな絵描きたち～被災地バムの子どもたちが見た風景」被災地交流実行委員会へ加盟し、これに参加した。

2004 年度寄付金－13,461,757 円 (プロジェクト開始後総額 35,534,759 円)

#### **アフガニスタン救援プロジェクト 2002 年 7 月 17 日～**

2002 年 7 月に立ち上げられたアフガニスタンぶどう畑再生プロジェクトは、3 度目の春を迎えることとなった。大統領選挙などに関連して治安状況が不安定であったため、2004 年度は 6 月以降現地を訪れることができなかった。しかし、カウンターパートから随時報告があったため、海外送金などを利用し、現地のプロジェクトを支援し続けた。現地では昨年貸し付けを行った家族からぶどう基金への一部返金が始まった。これまでのぶどう基金の貸し付け家族は 288 世帯。今年度 120 世帯が 6000 ドル相当額をぶどう基金に返金した。そして、それらを新たに 113 世帯へ貸し付けた。3 年目を迎えようやく、ぶどう基金が地域で広がりはじめた。

日本国内でのぶどう畑再生プロジェクト会員獲得については、急激に増加するということはないもののプロジェクトに賛同し、会員になってくださっている方々が多くなっている。現在の総会員数は 428 人。2004 年度寄付金は以下の通り。

アフガニスタン本体－226,182 円 (プロジェクト開始後総額 3,202,536 円)

ぶどう基金－2,396,662 円 (プロジェクト開始後総額 7,228,062 円)

#### **アルジェリア地震救援プロジェクト 2003 年 5 月 23 日～**

引き続きクワテモック (メキシコクワテルロコ住民連絡会議・CODE 海外研究員) を通じて支援先し、適当なカウンターパートが見つかり次第用途を検討する。

2004 年度寄付金－250,000 円 (プロジェクト開始後総額 3,613,249 円)

#### **中国ウイグル地震救援プロジェクト 2003 年 2 月 25 日～2004 年 12 月 31 日**

華橋総会にウイグル地震募金を全額、振り込みプロジェクトを終了した。

2004 年度寄付金－250,000 円 (プロジェクト開始後総額 2,215,504 円)

#### **トルコビンギョル地震救援プロジェクト 2003 年 5 月 3 日～2004 年 12 月 31 日**

愛と望みのテントにトルコビンギョル地震支援募金を全額振り込み、プロジェクトを終了した。

2004 年度寄付金－0 円 (プロジェクト開始後総額 631,294 円)

#### **タイ・スアンプルー火災救援プロジェクト 2004 年 4 月 23 日～2004 年 6 月 7 日**

2004 年 4 月 23 日タイ・バンコクスアンプルースラムにおいて火災が発生。阪神・淡路大震災の時このスラムの住民より (社) シャンティ国際ボランティア会 (SVA) を通じて寄付金が届けられた経緯があるため、CODE としていち早く 1 ヶ月間の寄付金受付を開始した。寄付金は SVA へ託された。

2004 年度寄付金－123,712 円

#### **スマトラ沖地震津波災害救援プロジェクト 2004 年 12 月 26 日～**

2004 年 12 月 26 日にスマトラ沖にてマグニチュード 9.4 の大地震が発生した。それに伴いインド洋に大規模な津波が発生し、各国に多大な被害をもたらした。CODE として 12 月 31 日～1 月 7 日に掛けてスタッフ 2 名を第 1 次被害調査のためスリランカへの派遣を行った。その後第 2 次調査 2 月 23 日～3 月 4 日を行った。今後の支援として子ども防災教育、漁業支援、生業支援、女性自立支援を中心に支援を行うことが確認された。

2004 年度寄付金－11,757,692 円

#### **イラン・ザランド地震救援プロジェクト 2005 年 2 月 22 日～**

2005 年 2 月 22 日に発生したイラン・ザランド地震に対して、バム救援活動のため滞在している AHKK スタッフ 2 名を直後に現地派遣を行った。緊急援助要請はなかったため、今後、復興支援を AHKK との連携の上、行う。

## 2004年度救援プロジェクト寄付金総額

	2004 年度寄付金
イラン地震救援プロジェクト	13,461,757 円
アフガニスタン救援プロジェクト	2,622,844 円
アルジェリア地震救援プロジェクト	250,000 円
中国ウイグル地震救援プロジェクト	250,000 円
トルコビンギョル地震救援プロジェクト	0 円
バンコク・スラム火災プロジェクト	123,712 円
スマトラ沖地震津波被害救援プロジェクト	11,757,692 円
イラン・ザランド地震救援プロジェクト	112,330 円
合 計	28,578,335 円

### クラフト販売

被災地 NGO 協働センターの協力の下、KOBЕ クラフト「まけないぞう」や CODE 海外災害援助市民センター編著「災害救援～支え合いは国境を越えて～」や、CODE T シャツの販売を行った。

まけないぞう－12 個

災害救援～支え合いは国境を越えて～－33 冊

CODET シャツ－33 枚

### 【人材育成事業】

#### NGO ことはじめセミナー

「貧困」をメインテーマに NGO の各分野からそれぞれの問題を考えようとしたが、調整不足により 1 回のみしか今年度は開催できず。

開催日時	講 師	テ ー マ	受講者数
11 月 9 日	池住 義憲さん 国際民衆保健協議会日本連絡事務所 代表	第 1 回「豊かさとは貧しさ ～アジアの現場から～」	7

### HA T ツアー

開催せず。

### 【災害関連情報の収集と発信事業】

#### 災害情報サイト (CODE World Voice) の運営

災害救援情報、セミナー情報などを中心に発信を行った。イラン南東部地震に関しては、現地からの情報をほぼリアルタイムに HP、メーリングリストで発信することができた。3 月末までのアクセス数は 3 万 1000 件。(昨年度は 1 年間で 1 万 5,000 件)。

「World Voice～災害から見る人々の暮らし～」は、12 人の翻訳ボランティアの協力により UNOCHA リリーフウェブの翻訳及び発信を行っている。また行政と NPO 協同事業の助成金を得て、舞子高校環境防災科の生徒らと共に冊子「World Voice～世界の声を聞こう～」を作成し、兵庫県下の 233 校への高校へと配布された。

### 【国内外のネットワーク構築事業】

#### 関係機関の開催するセミナー・シンポジウム等への参加

下記のセミナー及びシンポジウムへ参加した。

開催日時	セミナー及びシンポジウム名	主 催 団 体
3 月 29 日	災害時における相互支援活動フォーラム	「震災復興・国際感謝の集い」実行

		委員会
1月29日	NGO-JICA 地域会合	JICA 兵庫国際センター

### 留学生セミナー

6月7日国連地域開発センター(UNCRD)より研修生受け入れを行った。  
前年度に引き続き、JICA 兵庫国際センターより留学生研修を8月23日～8月29日まで受け入れた。

### 国際会議等の運営・協力

12月10日、11日には市民と「NGO」の防災国際フォーラムが開催された。CODEとしてもイランよりA H K K理事バタニさんを招聘した。

1月18日～23日までは国連世界防災会議が神戸にて開催されたため、CODE独自のセッションとして1月20日「震災10年と市民社会」と題したシンポジウムを持った。また21日には「災害ボランティア世界会議」実行委員会の一団体として、会議の開催に協力を行った。

## 【市民による災害救援に関する啓発及び広報事業】

### 機関誌とインターネット

CODE レター、プロジェクトニュースは7回発行。ぶどう新聞は3回発行。現在の発送数は、会員はじめ各救援プロジェクトの支援者、関係機関や構想委員会時からの関係者などへ656部

### 救援プロジェクト報告会

下記の通りアフガニスタン報告、イラン地震報告、スマトラ沖地震津波被害報告などを行った。

開催日時	講義名	主催団体	講演者
4月2日	イラン地震報告	日本基督教団兵庫教区長田センター	事務局 斉藤
4月14日	アフガニスタン・イラン地震報告	キワニスクラブ	村井理事・事務局長
4月23日	イラン地震報告	岸和田小さな友の会	事務局 斉藤
5月10日	イラン・バム地震支援報告会	All Hyogo	村井理事・事務局長
6月12日	アフガニスタンの支援活動と子どもたち	「30人学級実現」市民運動1周年つどい	村井理事・事務局長
7月4日	イラン地震報告	「小さな絵描きたち」実行委員会	村井理事・事務局長
7月7日	アフガニスタン報告	ヒューライツ大阪	村井理事・事務局長
7月8日	平和のつどい	コープこうべ(宝塚)	村井理事・事務局長
7月10日	アフガニスタン報告	アジア女性自立プロジェクト	村井理事・事務局長
7月11日	平和のつどい	コープこうべ(明石、住吉)	村井理事・事務局長
7月12日	イラン地震報告	明親小学校	事務局 斉藤
7月15日	イラン地震報告	港島小学校	事務局 斉藤
7月25日	イラン地震報告	「小さな絵描きたち」実行委員会	事務局 斉藤
9月10日	イラン・バム地震支援報告会	All Hyogo	村井理事・事務局長
9月22日	ボランティア学講座アフガニスタン報告	ひょうご・まち・くらし研究所	村井理事・事務局長
9月30日	アフガニスタン報告	太山寺中学校	村井理事・事務局長
10月7日	アフガニスタンを忘れない	ピースIネット	村井理事・事務局長
10月29日	よみがえれアフガニスタン!	名古屋・金城学院	村井理事・事務局長
1月14日	スリランカ報告	神戸YMCA	村井理事・事務局長
2月3日	拡大学習会スマトラ沖地震津波報告	関西NGO協議会	事務局 斉藤
2月18日	ロータリークラブ講演会	京都洛西ロータリークラブ	村井理事・事務局長
2月19日	神戸からスマトラへ	国際ボランティア学会	事務局 斉藤
2月26日	私の見たスリランカ	みのる会	村井理事・事務局長
2月28日	スマトラ沖地震津波報告	きりり連合	村井理事・事務局長
2月28日	スマトラ沖地震津波報告	ちいさな友の会・岸和田	村井理事・事務局長

3月7日	総合学習	県立宝塚西高等学校	村井理事・事務局長
3月14日	総合学習	県立宝塚北高等学校	村井理事・事務局長
3月15日	スマトラ沖地震津波報告	JICA 青年海外協力隊 OB 会	事務局 飯塚
3月16日	スマトラ沖地震津波報告	かつやま子どもの村中学校	事務局 飯塚
3月18日	スマトラ沖地震津波報告	コープこうべ	村井理事・事務局長
3月21日	スマトラ沖地震と津波被害	日本 NPO 学会	村井理事・事務局長

### 冊子等の発行

「災害救援 支えあいは国境を越えて」（神戸新聞総合出版センター発行）を昨年度に引き続き販売した。

総合出版センターより買い取り分ー 40冊

売り上げ冊子数ー 241冊